

研究ノート

オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて ～講師派遣の実績を手掛かりとして～ その4

乳 井 勇 二 (総合スポーツ科学研究センター)
秋 和 真 澄 (総合スポーツ科学研究センター)
冨 田 幸 祐 (オリンピックスポーツ文化研究所)
関 根 正 美 (体育学部/体育スポーツ科学系)

I. はじめに

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、1年延期となった2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下東京2020大会)は、無観客で開会式が始まるなどさまざまな制限がある中での開催となった(朝日新聞, 2021a; 朝日新聞, 2021b)。これにより全国の児童・生徒による学校観戦はごく一部となり(朝日新聞 2021c)、子どもたちが直接オリンピック・パラリンピックに触れる機会を提供することができなかった。こうした新型コロナ感染症の影響は本大会に限らず、オリンピック・パラリンピック関連事業にも影響を及ぼした。

スポーツ庁では2016年から「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」^{注1)}(以下オリ・パラ事業)を実施し、オリンピック・パラリンピック教育^{注2)}(以下オリ・パラ教育)を推進している。「オリ・パラ事業」はスポーツ庁に加え、内閣官房、2020東京オリンピック・パラリンピック組織委員会、日本オリンピック委員会(以下JOC)、日本パラリンピック委員会(以下JPC)、日本財団パラリンピックサポートセンター、そして中核拠点大学として筑波大学、早稲田大学、日本体育大学によって推進されている。中核拠点大学はオリンピック・パラリンピック教育推進地域(以下オリ・パラ教育推進地域)と連携し、オリンピック・パラリンピック教育推進校

(以下オリ・パラ教育推進校)の支援を行っている。具体的な支援内容として、地域拠点担当者となるコーディネーター(教育委員会指導主事等)への支援、地域セミナーおよびワークショップの際に推進校教員へのオリ・パラ教育のレクチャー、推進校の授業実践への支援などがある。中核拠点大学によるオリ・パラ事業の支援については、年度ごとに事例が報告されている^{注3)}。

オリンピック・パラリンピックレガシーの一つとして進められているオリ・パラ教育については、オリ・パラ教育推進校の実践内容や派遣講師の特徴把握についての報告(乳井ほか, 2019; 乳井ほか, 2020; 乳井ほか, 2021; 深見ほか, 2021; 宮崎, 2019; 友添ほか, 2018a; 友添ほか, 2019a; 友添ほか, 2020)やオリ・パラ教育の推進地域の取組内容(教員研修等)についての報告(深見ほか, 2021; 友添ほか, 2018b; 友添ほか, 2019b)など、さまざまな視点での報告や検証が進んでいる。そのような中、岡田ほか(2020)は教員の視点からオリ・パラ教育の効果や課題を実践内容と関連付けて分析し、オリ・パラ教育の促進方法として、オリンピック・パラリンピアンを題材とした「道徳」の授業モデルの作成など、オリ・パラ教育の定着・拡大を見据えたさまざまな提案をしている。また、広瀬ほか(2021)は小学校道徳科におけるオリ・パラ教育の特質として、全ての会社の教科書において、オリンピック・パラリンピックに関連する題材が掲載されており、実際に選手

や元選手から話を聞くことができない学校においても、選手のエピソードや体験などを道徳教育の教材として提供することで、道徳科においてオリ・パラ教育を実施することが可能であると述べており、これまで岡田ほか（2018）や宮崎（2019）において課題とされてきた講師派遣に伴う、教員の負担や経費に関する課題の解決に繋がる提案をしている。オリ・パラ教育の継続を目指していく上では、このように課題解決に繋がる提案が増えていくことで、現場の教員の負担軽減や不安解消に繋げることができ、今後さらに積み重ねていくことが重要となるであろう。また、2016年から継続的に実施されているオリ・パラ教育における派遣講師の各年の特徴を把握していくことも有益な情報となり、オリ・パラ教育のレガシーの一つとなるであろう。本稿は、乳井ほか（2019）、乳井ほか（2020）、乳井ほか（2021）と同様の方法で、日本体育大学（NSSU：Nippon Sport Science University）オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業【NSSU-Center for Olympic and Paralympic Empowerment（以下N-COPE）】が支援している地域を中心に2020年度及び2021年度にN-COPEに報告された取り組みを類別し、その特徴を把握することを目的とする。N-COPEが支援している地域は2020年度が北海道・栃木県・千葉県・新潟県・石川県・山梨県・兵庫県・岡山県・高知県・大分県・千葉市・新潟市・大阪市・神戸市・岡山市の15地域であり、2021年度が北海道・栃木県・千葉県・新潟県・石川県・山梨県・兵庫県・岡山県・千葉市・大阪市・神戸市・岡山市の12地域であった^{注4)}。なお、本稿における「障害」の標記については、学習指導要領等の公的文書で用いられる「障害」については「障害」を用いることとし、それ以外については、信太ほか（2018）が障がい者スポーツへの

関わりを高める方策を実施する際には、「障害者」よりも「障がい者」の表記が適切であると指摘していることから「障がい」と表記した。

Ⅱ. 2020年度オリ・パラ教育実施校の取組内容

まず、オリ・パラ教育を行ったすべての学校における、講師の派遣状況を示し（表1）、講師派遣のオリンピック、パラリンピアン、アスリート、パラアスリート、ゲストティーチャーに分類した（表2）。

表1 派遣講師状況

あり	なし	実施校およびイベント合計
206 (79%)	56 (21%)	262

表1からわかる通り、オリ・パラ教育を実施している学校および地域拠点主催イベント（合計262回）のうち79%（206回）で講師を派遣して実践していることが明らかとなった。2017年度（81%）、2018年度（86%）、2019年度（87%）と同様に高い割合で講師を派遣しながらオリ・パラ教育を実践していることが明らかになった。

表2の内訳をみると、オリンピックが11%、パラリンピアンが24%、アスリートが8%、パラアスリートが18%、ゲストティーチャーが39%であった。健常者アスリートであるオリンピックとアスリートを合計すると19%、障がい者アスリートであるパラリンピアンとパラアスリートを合計すると42%となり、2019年度と同様に障がい者アスリートが大幅に上回る結果となった。また、推進校として選手の派遣などを予定している学校がコロナ禍の影響により選手を派遣できなかった事例や、コロナ禍を理由に推進校を辞退す

表2 派遣講師内訳

オリンピック	パラリンピアン	アスリート	パラアスリート	ゲストティーチャー	合計
37 (11%)	79 (24%)	27 (8%)	60 (18%)	129 (39%)	332

※オリ・パラ教育を実施している学校の中で複数の講師を派遣している学校があるため実施校と講師派遣の合計数が異なっている。

る学校もあり、2019年度は15地域263校であったが、2020年度は15地域248校となり地域数に変化はなかったが推進校数は減少した^{注4)}。

派遣された講師をオリンピック、パラリンピアン、アスリート、パラアスリート、ゲストティーチャーに分類し、それぞれの取組内容を示した(表3～表7) さらにゲストティーチャーについては業種別の内訳を示した(表8)。

表3のオリンピック派遣内訳をみると、1996年夏季アトランタ大会に出場した成田郁久美氏(バレーボール)、瀬戸山正二氏(ビーチバレーボール)から2016年夏季リオデジャネイロ大会に出

場した高藤直寿氏(柔道)、松本薫氏(柔道)、古川高晴氏(アーチェリー)、原田喜市氏(馬術)まで幅広い年代のオリンピックが派遣されている。また、石川多映子氏(ソフトボール)が4回、松本薫氏(柔道)が3回、瀬戸山正二氏(ビーチバレーボール)、原田喜市氏(馬術)、山口舞氏(バレーボール)が2回と複数回派遣されている。延べ37回のうち28名のオリンピックが派遣され、冬季大会に出場したのは2名であった。N-COPEが支援している地域別にみると、栃木県が7回、石川県が6回、兵庫県・大阪市が5回、岡山県が4回、千葉県・山梨県が3回、北海道・新

表3 派遣講師オリンピック

地域	学校・イベント名	氏名	競技	オリンピック出場年	オンライン
北海道	恵庭市立島松小学校	成田郁久美	バレーボール	1996年アトランタ、2004年アテネ	
	池田町立池田小学校	及川佑	スケート	2006年トリノ	
栃木県	栃木市立真名子小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー	
	栃木市立部屋小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー	
	那須塩原市立東原小学校	高藤直寿	柔道	2016年リオデジャネイロ	
	那須塩原市立豊浦小学校	杉町マハウ	陸上競技	2008年北京	
	栃木市立藤岡第二中学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー	
	栃木市立栃木南中学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー	
千葉県	習志野市立香澄小学校	瀬戸山正二	ビーチバレーボール	1996年アトランタ	
	野田市立清水台小学校	金丸雄介	柔道	2008年北京	
	習志野市立第七中学校	瀬戸山正二	ビーチバレーボール	1996年アトランタ	
新潟県	佐渡市立真野小学校	右代啓佑	陸上競技	2012年ロンドン	
	長岡市立関原中学校	久保倉里美	陸上競技	2008年北京、2012年ロンドン	
石川県	中能登町立鹿島小学校	為末大	陸上競技	2008年北京	
	輪島市立鳳至小学校	大神雄子	バスケットボール	2004年アテネ、2008年北京	
	小松市立国府中学校	岸綾乃	トランポリン	2012年ロンドン	
	金沢市立兼六中学校	松本薫	柔道	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
	県立津幡高等学校	松本薫	柔道	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
山梨県	甲府市立新田小学校	萩原智子	競泳	2000年シドニー	
	南部町市立睦合小学校	佐野夢加	陸上競技	2012年ロンドン	
	県立増穂商業高等学校	辻知恵	バレーボール	2004年アテネ	
大阪市	大阪市立関目東小学校	古川高晴	アーチェリー	2004年アテネ、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
	大阪市立横堤小学校	小林雅英	野球	2004年アテネ	
	大阪市立平林小学校	朝原宣治	陸上競技	2008年北京	
	大阪市立川辺小学校	藤田健一	体操競技	2000年シドニー	
兵庫県	小野市立河合小学校	川澄奈穂美	サッカー	2012年ロンドン	○
	赤穂市立有年小学校	竹下佳江	バレーボール	2012年ロンドン	
	洲本市立塚小学校	竹澤健介	陸上競技	2008年北京	
	淡路市立東浦中学校	小林祐梨子	陸上競技	2008年北京	○
	県立篠山東雲高等学校	鹿島文博	体操競技	2004年アテネ、2008年北京	
岡山県	真庭市立八束小学校	原田喜市	馬術	2016年リオデジャネイロ	
	真庭市立川上小学校	原田喜市	馬術	2016年リオデジャネイロ	
	岡山市立鹿田小学校	山口舞	バレーボール	2012年ロンドン	
	岡山市立吉備中学校	山口舞	バレーボール	2012年ロンドン	

潟県が2回、高知県・大分県・千葉県・新潟市・神戸市・岡山市はオリンピックの派遣がなかった。

表4のパラリンピアン派遣内訳をみると、1988年ソウル大会に出場した永尾喜章氏（陸上競技）、加藤正氏（水泳）から2016年リオデジャネイロ大会、2018年平昌大会に出場した樋口政幸氏（陸上競技）、笠本明里氏（水泳）、中西麻耶氏（陸上競技）、岩渕幸洋（卓球）、眞田卓（車いすテニス）、松永仁志（陸上競技）、池透暢（車いすラグビー）、アンドレアス・オネア（オーストラリア水泳）、モニーク・マフィ（オーストラリア水泳）、サラ・ウォルシュ（オーストラリア陸上競技）、ジャリド・クリフォード（オーストラリア陸上競技）、堀江航氏（アイスホッケー）、上原大祐氏（アイスホッケー）まで幅広い年代でのパ

ラリンピアンが派遣されていた。また、永尾嘉章氏（陸上競技）が11回、馬島誠氏（アイスホッケー）が9回、眞田卓氏（車いすテニス）・上原大祐氏（アイスホッケー）・鈴木徹氏（陸上競技）が5回、秋元妙美氏（ボッチャ）・根木慎志氏（車いすバスケットボール）・神保康広氏（車いすバスケットボール）・増淵倫巳氏（車いすバスケットボール）が3回、岩渕幸洋氏（卓球）・岡紀彦氏（卓球）・金田典子氏（シッティングバレーボール）が2回となり、36名中12名が複数回派遣されていた。また、これまで行われていたホストタウン交流事業や2020東京大会の事前合宿を兼ねた選手の派遣については対面で行うことができなかったが、オンラインを活用し、3校の学校では外国人選手との交流が行われた。延べ73回のうち36名のパ

表4 派遣講師パラリンピアン

地域	学校・イベント名	氏名	競技	パラリンピック出場年	オンライン
栃木県	栃木市立栃木第五小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	栃木市立大宮北小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	栃木市立岩舟小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	栃木市立大平南小学校	岩渕幸洋	卓球	2016年リオデジャネイロ	
	那須塩原市立稲村小学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	○
	那須塩原市立東原小学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
	那須塩原市立埼玉小学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン	
		ケルカゴン・ジャックアール (オーストリア)	自転車競技	2008年北京、2012年ロンドン	○
	那須塩原市立高林小学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	○
	那須塩原市立青木小学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン	
	那須塩原市立三島小学校	秋元妙美	ボッチャ	2012年ロンドン	
	那須塩原市立槻沢学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	那須塩原市立東小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京、2012年ロンドン	
	那須塩原市立西小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京、2012年ロンドン	
	那須塩原市立大山小学校	上原大祐	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー、2018年平昌	
	那須塩原市立関谷小学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	○
	栃木市立岩舟中学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	栃木市立吹上中学校	岩渕幸洋	卓球	2016年リオデジャネイロ	
	栃木市立寺尾中学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン	
	那須塩原市立厚崎中学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
那須塩原市立東那須野中学校	アンドレアス・オネア (オーストリア)	水泳	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	○	
	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン		
那須塩原市立箒根中学校	秋元妙美	ボッチャ	2012年ロンドン		
県立今市高等学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京、2012年ロンドン		
千葉県	市川市立平田小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	鎌谷市立五本松小学校	石原正治	車いすバスケットボール	2000年シドニー	
		杉田好士郎	水泳	2000年シドニー	
	佐倉市立印南小学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	香取市立新島小学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	一宮町立東浪見小学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	長生村立一松小学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	君津市立八重原小学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	市原市立京葉小学校	神保康広	車いすバスケットボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ	
	船橋市立法田中学校	神保康広	車いすバスケットボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ	

千葉県	我孫子市立久寺家中学校	神保康広	車いすバスケットボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ	
	旭市立第二中学校	京谷和幸	車いすバスケットボール	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	いすみ市立大原中学校	安達阿記子	ゴールボール	2008年北京、2012年ロンドン	
	県立千葉女子高等学校	高田晃一	陸上競技	1992年バルセロナ、2000年シドニー、2008年北京	
	千葉黎明高等学校	渡辺紫帆	陸上競技	2012年ロンドン	
千葉県	県立東金特別支援学校	秋元妙美	ボッチャ	2012年ロンドン	○
新潟県	千葉市立高洲第四小学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	新発田市立中浦小学校	根木慎志	車いすバスケットボール	2000年シドニー	
	十日町市立鏡島小学校	樋口政幸	陸上競技	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
山梨県	長岡市立関原中学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	南部町立栄小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
大阪府	県立甲府城西高等学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	大阪市立横堤小学校	根木慎志	車いすバスケットボール	2000年シドニー	
兵庫県	明石市立二見北小学校	笠本明里	水泳	2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
		前中智佐美	アーチェリー	1972年ハイデルベルク	
	養父市立八鹿小学校	金尾智	シッティングバレーボール	2008年北京	
	新温泉町立浜坂中学校	伊藤真波	水泳	2008年北京、2010年アジア、2012年ロンドン	
	県立三田祥雲館高等学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	小野市立小野特別支援学校	内田恵三	ボッチャ	2008年北京	
	県立高等特別支援学校	黒木新吾	車いすバスケットボール	1996年アトランタ	
神戸市	県立播磨特別支援学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	神戸市立宮本小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	神戸市立桂木小学校	モニック・マフィ (オーストラリア)	水泳	2016年リオデジャネイロ	○
		エリザ・オルト・コンネル (オーストラリア)	陸上競技	2004年アテネ	○
		サラ・ウォルシュ (オーストラリア)	陸上競技	2016年リオデジャネイロ	○
		ジャリド・クリフオー (オーストラリア)	陸上競技	2016年リオデジャネイロ	○
	神戸市立筒井台中学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	神戸市立星陵台中学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
神戸市立鷹匠中学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ		
岡山県	倉敷市立連島北学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	倉敷市立川辺小学校	岡紀彦	卓球	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京	
	玉野市立築港小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌	
	高梁市立宇治小学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	真庭市立八束小学校	上原大祐	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー、2018年平昌	
	真庭市立川上小学校	上原大祐	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー、2018年平昌	
	美作市立江見小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	鏡野町立鶴喜小学校	松永仁志	陸上競技	2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
	井原市立高屋中学校	岡紀彦	卓球	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京	
高知県	高知市立小高坂小学校	根木慎志	車いすバスケットボール	2000年シドニー	
	四万十市立西土佐小学校	上原大祐	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー、2018年平昌	
	四万十市立西土佐中学校	上原大祐	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー、2018年平昌	
	県立中村特別支援学校	上原大祐	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー、2018年平昌	
	あすチャレ！/ゆめチャレ！ School in KOCHI	池透暢	車いすラグビー	2016年リオデジャネイロ	
大分県	別府市立山の手中学校	中西麻耶	陸上競技	2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	○
	別府市立青山中学校	加藤正	水泳、アイスレスジビードレース、アイスホッケー	1988年ソウル、1994年リレハンメル、1998年長野、2002年ソルトレイク、2006年トリノ	

表5 派遣講師アスリート

地域	学校・イベント名	取組内容	オンライン
栃木県	県立小山城南高等学校	陸上競技選手による講演	
千葉県	鴨川市立西条小学校	フェンシング日本代表選手による実技体験および講演	
	木更津市立清見台小学校	野球選手によるオンライン講演	○
		サッカー選手によるオンライン講演	○
		フットサル選手による実技体験	
	松戸市立第五中学校	ラグビー選手による講演	
	流山市立常盤松中学校	サッカー元日本代表選手による講演および交流	○
県立千葉南高等学校	バレーボール選手による実技体験および交流		
県立東金特別支援学校	陸上競技選手による講演および交流		

新潟市	新潟市立江南小学校	外国人サッカー選手との交流	
	新潟市立万代長嶺小学校	外国人サッカー選手とのオンライン交流	○
	新潟市立上山小学校	外国人サッカー選手とのオンライン交流	○
	新潟市立新通小学校	外国人サッカー選手とのオンライン交流	○
	新潟市立黒崎南小学校	外国人バスケットボール選手との実技体験および交流	
	新潟市立巻北小学校	外国人サッカー選手とのオンライン交流	○
	新潟市立両川中学校	外国人バスケットボール選手との実技体験および交流	
石川県	スポーツ選手ふれあい事業	トランポリン選手による演技披露、実技体験および講演	
山梨県	笛吹市立春日居中学校	レスリング選手による講演	
	上野原市立上野原中学校	プロトレイルランナーとの交流および講演	
	県立ろう学校	ラグビー元日本代表選手による実技体験および講演	
大阪市	大阪市立平林小学校	陸上競技選手による講演および実技体験	
兵庫県	川西市立緑台小学校	トライアスロン選手による講演	
岡山県	鏡野町立鶴喜小学校	サッカー選手との交流	
		バスケットボール選手との交流	
		タグラグビー選手との交流	
岡山市	岡山市立上南中学校	バスケットボール選手による講演および実技体験	
	岡山市立岡山後楽館中学校	自転車競技選手による講演	

ラリンピアンが派遣され、冬季大会に出場したのは3名であった。N-COPEが支援している地域別にみると、栃木県が24回、千葉県が16回、神戸市が9回、兵庫県が8回、山梨県が2回、岡山県

が9回、大分県が2回、高知県が5回、新潟県が3回、千葉市・大阪市が1回の派遣をしており、北海道・新潟市・岡山市はパラリンピアンへの派遣がなかった。

表6 派遣講師パラアスリート

地域	学校・イベント名	取組内容	オンライン
北海道	滝川市立江部乙小学校	アルゼンチンカーヌー代表選手とのオンライン交流	○
栃木県	那須塩原市立東原小学校	オーストリア自転車競技選手とのオンライン交流	○
	那須塩原市立西小学校	陸上競技選手による実技体験	
千葉県	習志野市立秋津小学校	ブラインドサッカー選手による講演	
	市川市立真間小学校	パワーリフティング選手による実技体験および講演	
	柏市立酒井根小学校	バドミントン選手による実技体験および講演	
	流山市立小山小学校	アンブティサッカー選手による実技体験および講演	
		卓球選手によるオンライン交流	○
	鎌ケ谷市立五本松小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
		パワーリフティング選手によるオンライン講演	○
	市原市立京葉小学校	陸上競技選手による実技体験および講演	○
車いすバスケットボール選手による実技体験および講演			
千葉市	千葉市立若松台小学校	シッティングバレーボール選手による実技体験	
	千葉市立畑小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
	千葉市立千草台東小学校	シッティングバレーボール選手による実技体験	
新潟県	県立川西高等特別支援学校	ポッチャ選手による実技体験および講演	
		車いすバスケットボール選手による実技体験および講話	
新潟市	新潟市立牡丹山小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講話	
		CPサッカー元日本代表選手による実技体験および講話	
		車いすバスケットボール選手による実技体験	
	新潟市立江南小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
	新潟市立万代長嶺小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
	新潟市立上山小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講話	
	新潟市立新通小学校	車いすバスケットボール選手による講演	
	新潟市立黒崎南小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講話	
	新潟市立中之口西小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講話	
山梨県	新潟市立漆山小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
	新潟市立両川中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講話	
山梨県	甲府市立中道南小学校	陸上競技選手によるオンライン義足体験授業	
	甲斐市立竜王中学校	車いすバスケットボール選手によるオンライン講演	○

大阪市	大阪市立田島小学校	ブラインドサッカー選手による実技体験	
	大阪市立平野中学校	ボッチャ選手による実技体験および講演	
	大阪市立中央高等学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
兵庫県	川西市立川西中学校	トライアスロン選手による講演	
	県立西宮香風高等学校	陸上競技選手による講演	○
	県立村岡高等学校	野球選手による講演	
	県立高等特別支援学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
神戸市	県立赤穂特別支援学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
	神戸市立筒井台中学校	車いすバスケットボール選手によるオンライン講演	○
岡山県	倉敷市立川辺小学校	サーフィン選手との交流	
		卓球による実技体験および講演	
	美作市立土居小学校	車いすバスケットボール選手による講演	○
		卓球選手による実技体験および講演	
	早島町立早島小学校	卓球選手による実技体験および講演	
	倉敷市立新田中学校	卓球選手による講演	
	倉敷市立味野中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
	井原市立高屋中学校	卓球選手による講演	
和気町立佐伯中学校	車いすバスケットボール選手によるオンライン講演	○	
岡山市	県立玉野光南高等学校	ブラインドサッカー選手による実技体験	
	岡山市立福浜小学校	陸上競技選手による講話および実技体験	
	岡山市立香和中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
高知県	岡山市立上南中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験	
	香南市立吉川小学校	陸上競技選手による講演および実技体験	
	馬路村立魚梁瀬小中学校	ゴールボール選手による実技体験および講演	
	あすチャレ！ School in KOCHI	車いすラグビー選手による実技体験および講演	
車いすラグビー選手による実技体験および講演			
ゴールボール選手による実技体験および講話			
大分県	玖珠町立八幡小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	玖珠町立小田小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	別府市立青山中学校	パワーリフティング選手による講演	
	玖珠町立くす星翔中学校	車いすバスケットボール選手による講演	

※ CP サッカーは「脳性まひ7人制サッカー」の略称

表5のアスリート派遣内訳をみると、サッカー選手が8回、バスケットボール選手が4回、陸上競技選手・ラグビー選手が3回、フェンシング選手・野球選手・フットサル選手・バレーボール選手・トランポリン選手・レスリング選手・トライアスロン選手・プロトレイルランナー・タグラグビー選手・自転車競技選手が1回派遣されていた。地元のプロスポーツチーム所属選手なども含めた外国人選手が7回であった。オンラインを活用した交流は7回行われた。N-COPEが支援している地域別にみると、千葉県が8回、新潟市が7回、

山梨県・岡山県が3回、岡山市が2回、栃木県・石川県・兵庫県・大阪市が1回、アスリートを派遣しており、新潟県・高知県・大分県・千葉市・神戸市ではアスリートの派遣がなかった。

表6のパラアスリート派遣内訳をみると、車いすバスケットボール選手が26回、卓球選手・陸上競技選手が6回、ブラインドサッカー選手・パワーリフティング選手が3回、車いすラグビー選手・ゴールボール選手・シッティングバレーボール選手・ボッチャ選手が2回、CPサッカー選手・アンプティサッカー選手・自転車競技選手・パド

表7 派遣講師ゲストティーチャー

地域	学校名	取組内容	派遣者	業種	オンライン
北海道	滝川市立江部乙小学校	ゲストティーチャーを招聘しスペイン語の学習を実施。	外国語講師	外国人講師	
	白老町立竹浦小学校	白老モントリの会から講師を招聘し、白老地方に伝わるアイヌ古式舞踊の代表的な踊りと唄の体験学習を実施。	アイヌ文化講師	伝統文化芸能講師	
	北斗市立谷川小学校	車いすバスケットボールクラブの監督を招聘し、車いすバスケットボール教室を実施。	車椅子バスケットボールクラブ監督	競技団体	
	東川町立東川小学校	養護学校教諭、バリアフリーセンター職員を招聘し、パラリンピックスポーツに関する学習を体験。	養護学校教員	小中高特支教員	
	興部町立興部小学校	養護学校教諭、バリアフリーセンター職員を招聘し、パラリンピックスポーツに関する学習を体験。	バリアフリーセンター職員	社会福祉関係	
		社会福祉協議会と連携し、視覚障害体験グッズを活用した視覚障害の疑似体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉関係	

栃木県	那須塩原市立青木小学校	Zoomを利用し、オーストリアの自然や文化、世界各国の国旗の意味を学習。	外国人講師	外国人講師	○
	栃木県立今市高等学校	外国人講師を招聘し、ドイツ語の発音やオーストリア国歌の意味について学習。	外国人講師	外国人講師	
千葉県	八千代市立高津小学校	宇都宮大学准教授を招聘し、多様性を生かす社会について講演会を実施。	宇都宮大学大学院教育研究科准教授	大学・専門学校教職員	
	八千代市立高津小学校	八千代市福祉協議会から講師を招き、白杖・車いす体験、講話を実施。	八千代市福祉協議会職員	社会福祉関係	
	船橋市立高根東小学校	講師を招いて空手体験を実施。	空手講師	スポーツ関係団体	
	船橋市立高根東小学校	千葉県特別支援学校の教員を講師として招聘し、視覚障害学習体験を実施。	千葉県特別支援学校教員	小中高特支教員	
	市川市立真間小学校	地域の書道指導者を招聘し、オリンピック・パラリンピック応援メッセージを書き表す活動を実施。	書道講師	伝統文化芸能講師	
	松戸市立大橋小学校	地元の農業従事者を講師として、梨栽培学習を実施。	農業従事者	その他	
	流山市立小山小学校	卓球台制作会社の工場長を講師として、オンライン講話を実施。	卓球台制作会社工場長	その他	○
	成田市立久住小学校	講師を招聘し、書き初めを行う活動を実施。	書道講師	伝統文化芸能講師	
	印西市立いには野小学校	順天堂大学の教授と大学生の協力を得て、パラリンピック正式種目のポッチャの体験学習を実施。	順天堂大学教授	大学・専門学校教職員	
	印西市立いには野小学校	順天堂大学の教授と大学生の協力を得て、パラリンピック正式種目のポッチャの体験学習を実施。	順天堂大学大学生	大学・大学院生	
	香取市立小見川北小学校	香取特別支援学校より講師を招いて、ポッチャの体験教室を実施。	香取特別支援学校教員	小中高特支教員	
	香取市立小見川北小学校	社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員を招聘し、認知症サポーター養成講座の講習を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉関係	
	香取市立小見川北小学校	社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員を招聘し、認知症サポーター養成講座の講習を実施。	地域包括支援センター職員	社会福祉関係	
	一宮町立一宮小学校	町の福祉健康課職員等を招き、視覚障害・肢体不自由・高齢者の疑似体験を実施。	一宮町福祉健康課職員	自治体職員	
	いすみ市立太東小学校	いすみ市サーフィン業組合、ライフセーバーチーム、いすみ市体育協会協力のもとサーフィン体験を実施。	いすみ市サーフィン業組合	スポーツ関係団体	
	いすみ市立太東小学校	いすみ市サーフィン業組合、ライフセーバーチーム、いすみ市体育協会協力のもとサーフィン体験を実施。	ライフセーバーチーム「Jプロ」	スポーツ関係団体	
	いすみ市立太東小学校	いすみ市サーフィン業組合、ライフセーバーチーム、いすみ市体育協会協力のもとサーフィン体験を実施。	いすみ市体育協会サーフィン部	スポーツ関係団体	
	館山市立豊房小学校	日本舞踊の専門家を招聘し、ソーラン節を踊る活動を実施。	日本舞踊講師	伝統文化芸能講師	
	鴨川市立西条小学校	車イスで生活する鴨川市内の方、社会福祉協議会の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	障がい者	障がい者	
	鴨川市立西条小学校	車イスで生活する鴨川市内の方、社会福祉協議会の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉関係	
	木更津市立清見台小学校	ブルガリアの異文化理解のための『Meiji』による食育セミナーを実施。	株式会社明治	その他	
	市原市立京葉小学校	車いすバスケボールチーム「千葉ホークス」のコーチを講師として、体験型授業を実施。	株式会社明治	競技団体	
	市原市立京葉小学校	株式会社明治主催講義型授業の明治食育セミナーを実施。	株式会社明治	その他	
	市原市立京葉小学校	日本フラインドサッカー協会が主催の、フラインドサッカー体験会を実施。	日本フラインドサッカー協会	競技団体	
	印西市立印楮中学校	特別非常勤講師(剣道六段)を外部指導者として招き、剣道(剣道)の学習をする稽古を実施。	剣道講師	スポーツ関係団体	
	昭和学院秀英中学校	ギソクの図書館代表理事・義足開発者による講演会を実施。	ギソクの図書館代表理事	その他	
	県立千葉女子高等学校	視覚障害者ガイドによる講演会を実施。	視覚障害者ガイド	競技団体	
	県立八千代高等学校	日本障がい者スポーツ協会の方を講師として、講演会を実施。	日本障がい者スポーツ協会	スポーツ関係団体	
県立千葉南高等学校	ドイツ総領事館経済担当専門官を講師として、講演会を実施。	ドイツ総領事館経済担当専門官	外国人講師		
県立流山南高等学校	市内在住のオランダの方を講師として、講演会を実施。	外国人	外国人講師		
日本体育大学柏高等学校	メンタルトレーナーの方を講師として、講演会を実施。	メンタルトレーナー	その他		
千葉黎明高等学校	スポーツキャスターの方を講師として、講演会を実施。	スポーツキャスター	その他		
県立東金特別支援学校	獅子舞の保存会の方を招聘し、体験学習を実施。	獅子舞の保存会	伝統文化芸能講師		
千葉市立登戸小学校	城西国際大学の留学生とポッチャを通して国際交流を図る活動を実施。	城西国際大学留学生	外国人講師		
千葉市立登戸小学校	視覚障がいの方を講師として、交流・体験を実施。	視覚障がい者	障がい者		
千葉市立登戸小学校	聴覚障がいの方を講師として、交流・体験を実施。	聴覚障がい者	障がい者		
千葉市立登戸小学校	肢体不自由の方を講師として、交流・体験を実施。	肢体障がい者	障がい者		
千葉市立若松台小学校	シッティングバレーボールのコーチを招聘し、体験会を実施。	シッティングバレーボールコーチ	競技団体		
千葉市立畑小学校	千葉市総合政策局オリンピック・パラリンピック推進部の方を招聘し、バラスポーツ体験を実施。	千葉市総合政策局	自治体職員		
千葉市立柏台小学校	車いす卓球協会の方を招いて、車いす卓球の体験を実施。	車いす卓球協会	競技団体		
上越市立飯小学校	スポーツ推進課の外国人の方を講師として、ドイツ文化等の学習を実施。	スポーツ推進課	外国人講師		
新潟県	加茂市立須田小学校	新潟医療福祉大学准教授および学生を講師として、バラスポーツ体験を実施。	新潟医療福祉大学准教授	大学・専門学校教職員	
新潟県	加茂市立須田小学校	新潟医療福祉大学准教授および学生を講師として、バラスポーツ体験を実施。	新潟医療福祉大学学生	大学・大学院生	
新潟県	長岡市立関原中学校	長岡市市民協働推進部スポーツ振興課の方を講師として、オーストラリアのホストタウン交流に関する講演を実施。	長岡市市民協働推進部スポーツ振興課	自治体職員	
新潟県	県立川西高等特別支援学校	十日町市スポーツ振興課国際交流員を招聘し、クロアチアについての講演会を実施。	十日町市スポーツ振興課国際交流員	外国人講師	
新潟市	新潟市立牡丹山小学校	茶道表千家教授を招聘し、茶道の体験活動を実施。	茶道表千家教授	伝統文化芸能講師	
新潟市	新潟市立牡丹山小学校	社会福祉協議会の方を招聘し、障がいのある人についての話を聞く活動を実施。	社会福祉協議会	社会福祉関係	
新潟市	中能登町立鹿島小学校	クラブ活動の時間に地域の方を招聘し、生け花クラブを発足。	生け花講師	伝統文化芸能講師	
石川県	小松市立国府中学校	助産師の方を招聘し、生と性についての講演会を実施。	助産師	医療従事者	
	小松市立国府中学校	セクシュアリティカウンセラーの方を招聘し、性についての講演会を実施。	セクシュアリティカウンセラー	その他	
	小松市立国府中学校	産婦人科医の方を招聘し、性感染症や中絶・命についての講演会を実施。	産婦人科医	医療従事者	
	石川県立鶴来高等学校	金城大学の方を招聘し、保育者の仕事について講演会を実施。	大学教員	大学・専門学校教職員	
	石川県立鶴来高等学校	金城大学の方を招聘し、社会保険入門について講演会を実施。	大学教員	大学・専門学校教職員	
	石川県立鶴来高等学校	福祉の伝道師を招聘し、授業を実施。	福祉の伝道師	社会福祉関係	
	石川県立鶴来高等学校	福祉共育プログラムとして、講演、車いすバスケボール体験を実施。	白山市社会福祉協議会	社会福祉関係	
	石川県立鶴来高等学校	白山市聴覚障害者協会の方を招聘し、手話講座を実施。	聴覚障がい者協会	障がい者	
	石川県立鶴来高等学校	近隣社会福祉施設と交流し、認知症サポーター養成講座を実施。	社会福祉施設職員	社会福祉関係	
	石川県立鶴来高等学校	金城大学の方を招聘し、講演会を実施。	大学教員	大学・専門学校教職員	
山梨県	石川県立鶴来高等学校	金城大学の方を招聘し、車いすの扱い方について講演会を実施。	大学教員	大学・専門学校教職員	
	石川県立鶴来高等学校	石川県介護福祉士の介護福祉士による、車いすの使い方の福祉や介護についての学習会を実施。	介護福祉士	社会福祉関係	
	石川県立鶴来高等学校	野々市市国際交流員(イギリス人)の方を招聘し、授業を実施。	野々市市国際交流員	外国人講師	
	石川県立鶴来高等学校	石川県国際交流員(ブラジル人)の方を招聘し、授業を実施。	石川県国際交流員	外国人講師	
	石川県立鶴来高等学校	白山市国際交流員(オーストラリア人)の方を招聘し、授業を実施。	白山市国際交流員	外国人講師	
	上野原市立秋山小学校	障害者フライングディスク講師を招聘し、障害者フライングディスクや障害者スポーツの講話・体験を実施。	障がい者フライングディスク講師	スポーツ関係団体	
	西桂町立西桂小学校	点字技能師・点字指導員を招聘し、視覚障害や点字についての講演・体験を実施。	点字技能師・点字指導員	公認指導員	
	甲府市立北東中学校	山梨学院大学柔道部女子監督、大学生2名を招聘し、講演会を実施。	大学教員	大学・専門学校教職員	
	甲府市立北東中学校	山梨学院大学柔道部女子監督、大学生2名を招聘し、講演会を実施。	大学生	大学・大学院生	
	北杜市立甲陵高等学校	元プロサッカーチーム監督を招聘し、講演会を実施。	元プロサッカーチーム監督	競技団体	
大阪市	大阪市立横堤小学校	ポッチャ日本代表コーチを招聘し、講演・体験会を実施。	ポッチャ日本代表コーチ	競技団体	
	大阪市立田島小学校	日本フラインドサッカー協会の方を講師として招聘し、フラインドサッカー体験を実施。	日本フラインドサッカー協会	競技団体	
	大阪市立此花中学校	日本体育大学の方を招聘し、オリンピックの意義やスピードスケートの事前学習を実施。	日本体育大学教員	大学・専門学校教職員	
	大阪市立此花中学校	地元中高教員・中学生も指導に入室体験を実施。	中高教員	小中高特支教員	
大阪市立此花中学校	地元中高教員・中学生も指導に入室体験を実施。	中学生	その他		
大阪市立平野中学校	日本体育大学の方を招聘し、新しいバラスポーツを考案・共生社会についての講演を実施。	日本体育大学教員	大学・専門学校教職員		
大阪市立平野中学校	長居障がい者スポーツセンターの方を招聘し、講演・体験会を実施。	障がい者スポーツセンター職員	スポーツ関係団体		

乳井勇二・他：オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて～講師派遣の実績を手掛かりとして～その4

兵庫県	明石市立二見北小学校	元国際交流ディレクター・国際パラ水泳強化コーチを招聘し、講演会を実施。	パラ水泳強化コーチ	競技団体
	小野市立河合小学校	小野市スポーツ振興課課長を招聘し、オリンピック・パラリンピックについての学習を実施。	小野市スポーツ振興課職員	自治体職員
	赤穂市立有年小学校	赤穂市社会福祉協議会の職員を講師として招聘し、ポッチャ体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉関係
神戸市	新温泉町立浜坂中学校	鳥取県イスバスケボール協会の職員を講師として招聘し、車いすバスケボール体験を実施。	車いすバスケボール協会職員	競技団体
	神戸市立星陵台中学校	盲導犬ユーザーが学校を訪問し、出張授業を通じて、視覚障がいに対する学習を実施。	視覚障がい者	障がい者
岡山県	倉敷市立連島北小学校	食育セミナーをオンラインで受講し、プロスポーツ選手の食事や栄養バランス、体の成長について学習。	食育セミナー関係者	その他
	倉敷市立川辺小学校	ゴールボール日本代表トレーナーを招聘し、ゴールボール体験を実施。	ゴールボール日本代表トレーナー	競技団体
	高梁市立宇治小学校	岡山県障がい者スポーツ協会の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	障がい者スポーツ協会	スポーツ関係団体
	新見市立野馳小学校	岡山県教育庁保健体育課指導主事を招聘し、オリパラ教育についての講話、ポッチャ体験を実施。	岡山県教育庁保健体育課	自治体職員
		環太平洋大学教員、大学生を招聘し、シッティングバレーボール体験を実施。	環太平洋大学教員	大学・専門学校教職員
	真庭市立八束小学校	環太平洋大学教員、大学生を招聘し、シッティングバレーボール体験を実施。	環太平洋大学学生	大学・大学院生
		フジアーノ岡山コーチを招聘し、親子サッカーを実施。	フジアーノ岡山コーチ	競技団体
	美作市立勝田東小学校	岡山県教育庁保健体育課指導主事を招聘し、ポッチャ体験を実施。	岡山県教育庁保健体育課	自治体職員
		ダンスインストラクターを招聘し、リズムジャンプの演習を実施。	ダンスインストラクター	スポーツ関係団体
	美作市立土居小学校	真庭市スポーツ推進員を招聘し、ポッチャ体験を実施。	真庭市スポーツ推進員	自治体職員
		県の障がい者スポーツ協会の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	障がい者スポーツ協会	スポーツ関係団体
	鏡野町立鶴喜小学校	県障がい者スポーツ協会の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	障がい者スポーツ協会	スポーツ関係団体
		サッカー、バスケボール、タグラグビーのコーチを招聘し、スポーツの楽しさを体験。	スポーツコーチ	競技団体
	倉敷市立連島中学校	国際理解教育「AMDA 社会開発機構」講演を実施。	AMDA 社会開発機構	その他
	倉敷市立味野中学校	車椅子フェンシング日本代表ヘッドコーチを招聘し、講演会を実施。	車椅子フェンシング日本代表ヘッドコーチ	競技団体
		ポッチャのインストラクターを招聘し、体験を実施。	インストラクター	スポーツ関係団体
	井原市立高屋中学校	シッティングバレーボールのインストラクターを招聘し、体験を実施。	インストラクター	スポーツ関係団体
		市の社会福祉協議会の協力を得て、車いす体験や高齢者の認知症を想定した寸劇を鑑賞。	井原市社会福祉協議会	社会福祉関係
	美作市立勝田中学校	岡山県教育庁保健体育課の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	岡山県教育庁保健体育課職員	自治体職員
		県教育庁保健体育課指導主事を招聘し、シッティングバレーボール体験を実施。	岡山県教育庁保健体育課職員	自治体職員
和気町立佐伯中学校	日本体育大学の教員を招聘し、オリンピック・パラリンピックに関する講演を実施。	日本体育大学教員	大学・専門学校教職員	
	ゴールボール日本代表トレーナーを招聘し、ゴールボール講習会を実施。	ゴールボール日本代表トレーナー	競技団体	
岡山市	環太平洋大学体育学部准教授を招聘し、シッティングバレーボール講習会を実施。	環太平洋大学体育学部准教授	大学・専門学校教職員	
	岡山市立鹿田小学校	立志教育で外部講師の講演会を実施。	立志教育	その他
高知県	岡山市立堂明小学校	社会福祉法人旭川荘の職員の方をゲストティーチャーに招聘し、ポッチャ体験を実施。	社会福祉施設職員	社会福祉関係
	足守クリニックの職員の方を招聘し、車椅子体験を実施。	足守クリニック	医療従事者	
高知県	高知市立小高坂小学校	日本サッカー協会主催の「夢の教室」に申し込み、高学年の生徒たちで実施。	日本サッカー協会	競技団体
	四万十市立西土佐小学校	高知市障害者福祉センターの方々の協力のもと、アイマスク体験、補助体験を実施。	障がい者福祉センター職員	社会福祉関係
		視覚障がい者の方の講話を実施。	視覚障がい者	障がい者
	高知県立高知国際中学校	まほろばクラブ南国の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
	パラスポ体験教室	世界ゆるスポーツ協会から講師を招聘し、ゆるスポーツ体験を実施。	世界ゆるスポーツ協会	スポーツ関係団体
		特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、シッティングバレーボール体験を実施。		特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体	
特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、ゴールボール、ポッチャ体験を実施。		特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体	
特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、ポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体		
特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を招聘し、ゴールボール体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体		

ミントン選手・サーフィン選手・トライアスロン選手・野球選手・カヌー選手が1回派遣されていた。延べ60回のパラアスリートの派遣のうち、半数以上となる36回で車いすを利用しているパラアスリートであった。また、CP（脳性まひ7人制）サッカー選手やアンプティサッカー選手など、パラリンピックでは実施されない競技の選手も派遣されていた。オンラインを活用した交流は10回行われた。N-COPEが支援している地域別にみると、岡山県・新潟市が10回、千葉県が9回、兵庫県・高知県が5回、大分県が4回、千葉市・

大阪市・岡山市が3回、栃木県・新潟県・山梨県が2回、北海道・神戸市が1回、パラアスリートを派遣しており、石川県では派遣がなかった。

表7のゲストティーチャーにおける講師の業種や取組内容をみると、推進校の実践テーマや授業の目的に合わせ、オリンピック・パラリンピックに関する専門知識を伝えるために大学や専門学校の教員、競技団体の強化・運営・普及などに関わるスタッフ、地域の伝統芸能講師、他国の文化を学ぶための外国人留学生など多岐に渡る講師が派遣されていた。特にパラリンピック関係者・障が

表8 ゲストティーチャー業種内訳

小中高特支教員	大学・専門学校教職員	競技団体	外国人講師	スポーツ関係団体	公認指導員	社会福祉関係	自治体職員	伝統文化芸能講師	障がい者	大学・大学院生	医療従事者	その他	合計
4 (3%)	12 (9%)	17 (13%)	11 (9%)	26 (20%)	1 (1%)	15 (12%)	9 (7%)	7 (5%)	7 (5%)	4 (3%)	3 (2%)	12 (11%)	129

い者スポーツ関係者・盲導犬や手話などの障がい者をサポートする立場の方々など、障がいに関わる内容については延べ129回のうち、76回と半数以上となった。また、具体的な取組内容においては講演会だけでなく、実技や異文化交流も含めた体験型の取組が67回行われた。オンラインを活用した取り組みは3回行われた。N-COPEが支援している地域別にみると、千葉県が33回、岡山県が23回、石川県が16回、高知県が15回、千葉市・大阪市が7回、北海道・新潟県が6回、山梨県が5回、兵庫県が4回、栃木県・岡山市が3回、新潟市、神戸市が1回、ゲストティーチャーを派遣しており、大分県では派遣がなかった。

表8のゲストティーチャー内訳をみると、スポーツ関係団体が20%、競技団体が13%、社会福祉施設職員が12%、大学・専門学校教員が10%、外国人講師が9%、自治体職員（福祉関係含む）が7%、障がい者・伝統芸能講師が5%、大学・大学院生・小中高特支教員が3%、医療従事者が2%、その他が10%であった。

その他として振り分けた特徴的な11人の取組を紹介する。1人目は地元の農業従事者を講師として、地域の特産物である梨の栽培方法を学ぶ栽培体験が行われた。2人目は卓球台製作会社の工場長を講師として、パラリンピアンとの繋がりや卓球に関することについてオンラインによる講演が行われた。3人目は株式会社明治の方を講師として、食育セミナーの一環としてヨーグルトの発祥国であるブルガリア共和国の歴史や文化、生活の様子についての講話が行われた。4人目はギンクの図書館代表理事の方を講師として、義足開発についてオンラインによる講演が行われた。5人目はメンタルトレーナーの方を講師として、可能性を最大限に引き出す方法などについてオンラインによる講演会が行われた。6人目はスポーツ

キャスターの方を講師として、オリンピック・パラリンピックを100倍楽しむ方法やコロナ禍を背景とした部活動応援をテーマとした講演会が行われた。7人目はセクシュアリティカウンセラーの方を講師として、性情報とその対応および性的欲求と性行動についての学習が行われた。8人目はメイン講師である大菅小百合氏（スピードスケート）のサポート役として地元在住でスピードスケート競技において全国大会出場経験がある中学生がスケート体験の指導及び補助を行った。9人目は食育アドバイザーの方を講師として、プロスポーツ選手の食事や栄養バランス、体の成長について、オンラインでの学習が行われた。10人目は国際理解教育「特定非営利活動法人AMDA社会開発機構」の方を講師として、SDGsを活用し、世界の多様性と格差についての学習が行われた。11人目は株式会社明治の方を講師として、アスリートの食生活について学び、受講者全員でミルク体操を行った。12人目はNPO法人岡山立志教育支援プロジェクトの方を講師として、志を持って頑張ることの大切さ、夢に向かって諦めずに突き進むことの大切さについての学習が行われた。それぞれのテーマに沿って、地域の人材を活用しながらさまざまな実践が行われていた。

Ⅲ. 2021年度オリ・パラ教育実施校の取組内容

2020年度と同様にオリ・パラ教育を行ったすべての学校における、講師の派遣状況を示し（表9）、講師派遣のオリンピック、パラリンピアン、アスリート、パラアスリート、ゲストティーチャーに分類した（表10）。

表10 派遣講師内訳

オリンピック	パラリンピアン	アスリート	パラアスリート	ゲストティーチャー	合計
49 (19%)	66 (25%)	8 (3%)	46 (18%)	90 (35%)	259

※オリ・パラ教育を実施している学校の中で複数の講師を派遣している学校があるため実施校と講師派遣の合計数が異なっている。

表 11 派遣講師オリンピアン

地域	学校・イベント名	氏名	競技	オリンピック出場年	オンライン
北海道	木古内町立木古内小学校	鈴木靖	スピードスケート	1984年サラエボ	
	留萌市立東光小学校	長岡弥生	スピードスケート	2002年ソルトレイクシティ	
栃木県	那須塩原市立黒磯小学校	榎本遼香	飛込	2021年東京	
	那須塩原市立東原小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー	
	那須塩原市立三島中学校	石川直宏	サッカー	2004年アテネ	
	栃木県立栃木翔南高等学校	高藤直寿	柔道	2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
千葉県	館山市立豊房小学校	田村悦智子	バレーボール	1976年モントリオール	
	市川市立真間小学校	西岡詩穂	フェンシング	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
		三宅諒	フェンシング	2012年ロンドン	
	船橋市立七林小学校	アメリカ体操チーム	体操競技	2021年東京	○
	野田市立清水台小学校	戸邊直人	陸上競技	2021年東京	
	旭市立第二中学校	越川一紀	陸上競技	1976年モントリオール	
		高瀬 慧	陸上競技	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
		秋葉（花岡）麻帆	陸上競技	2004年アテネ	
	秀明大学学校教師学部附属 秀明八千代中学校・高等学校	鈴木透生	水球	2021年東京	
	千葉県立東金特別支援学校	山崎勇喜	陸上競技	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
新潟県	上越市立国府小学校	ドイツ体操選手	体操競技	2021年東京	○
	上越市立飯小学校	ドイツ体操選手	体操競技	2021年東京	○
石川県	小松市立松東みどり学園	松下桃太郎	カヌー	2021年東京	
	津幡町立太白台小学校	川井梨紗子	レスリング	2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
		川井友香子	レスリング	2021年東京	
	能美市立根上中学校	平田しおり	ライフル射撃	2021年東京	
	白山市立北辰中学校	木島萌香	アーティスティックスイミング	2021年東京	
	石川県立津幡高等学校	赤穂ひまわり	バスケットボール	2021年東京	
	石川県立鶴来高等学校 イベント	多田修平	陸上競技	2021年東京	
		野口みずき	陸上競技	2004年アテネ	
山梨県	甲斐市立竜王南小学校	萩原智子	競泳	2000年シドニー	
	甲府市立中道北小学校	フランス卓球チーム	卓球	2021年東京	○
	山梨市立笛川小学校	佐野夢加	陸上競技	2012年ロンドン	
	北杜市立高根西小学校	佐野夢加	陸上競技	2012年ロンドン	
	甲府市立笛南中学校	辻知恵	バレーボール	2004年アテネ	
	市川三郷町立六郷中学校	佐野夢加	陸上競技	2012年ロンドン	
	笛吹市立石和中学校	中山陽介	ウエイトリフティング	2016年リオデジャネイロ	
	山梨県立塩山高等学校	中山陽介	ウエイトリフティング	2016年リオデジャネイロ	
大阪市	大阪市立横堤小学校	野口みずき	陸上競技	2004年アテネ	
	大阪市立三軒家東小学校	谷川亜華葉	競泳	2021年東京	
兵庫県	加古川市立氷丘南小学校	小林祐梨子	陸上競技	2008年北京	
	西脇市立楠丘小学校	田中希実	陸上競技	2021年東京	
	丹波篠山市立城東小学校	竹澤健介	陸上競技	2008年北京	
	宝塚市立中山五月台小学校	竹下佳江	バレーボール	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	香美町立村岡中学校	井上香織	バレーボール	2012年ロンドン	
	南あわじ市立西淡中学校	新鍋理沙	バレーボール	2012年ロンドン	
	宝塚市立宝梅中学校	竹下佳江	バレーボール	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	兵庫県立神戸北高等学校	弘津悠	ラグビー	2021年東京	
	県立西宮高等学校	寺内健	飛込	1998年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
岡山県	高梁市立宇治小学校	齋藤愛美	陸上競技	2021年東京	
	高梁市立福地小学校	齋藤愛美	陸上競技	2021年東京	
	岡山県立玉野光南高等学校	安部孝駿	陸上競技	2021年東京	
岡山市	岡山市立吉備中学校	重友梨佐	陸上競技	2012年ロンドン	

表9 派遣講師状況

あり	なし	実施校および イベント合計
170 (50%)	167 (50%)	337

表9からわかる通り、オリ・パラ教育を実施している学校および地域拠点開催のイベント（合計337回）のうち50%（170回）で講師を派遣して実践していることが明らかとなった。2017年度から2020年度までの8割程度と比べると低い割合となり、講師を派遣せずにオリ・パラ教育を実践している学校が増加していた。

表10の内訳をみると、オリンピックが19%、パラリンピアンが25%、アスリートが3%、パラ

アスリートが18%、ゲストティーチャーが35%であった。健常者アスリートであるオリンピックとアスリートを合計すると22%、障がい者アスリートであるパラリンピアンとパラアスリートを合計すると43%であり、2019年度、2020年度と同様に障がい者アスリートが大幅に上回る結果となった。

表11のオリンピック派遣内訳をみると、1976年夏季モントリオール大会に出場した越川一紀氏（陸上競技）から2021年東京大会に出場したアメリカ体操チーム、ドイツ体操選手、フランス卓球チーム、榎本遼香氏（飛込）、高藤直寿氏（柔道）、戸邊直人氏（陸上競技）、鈴木透生氏（水球）、松

表12 派遣講師パラリンピアン

地域	学校・イベント名	氏名	競技	パラリンピック出場年	オンライン
北海道	釧路市立朝陽小学校	レ・バンコン（ベトナム）	パワーリフティング	2016年リオデジャネイロ、2021年東京	○
	木古内町立木古内小学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	江差町立江差中学校	安達阿記子	ゴールボール	2008年北京、2012年ロンドン	
栃木県	那須塩原市立稲村小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌	
	那須塩原市立共英小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌	
	那須塩原市立高林小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌	
	那須塩原市立槻沢小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌	
	那須塩原市立東原小学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
		イボンヌ・マルツィンケ（オーストリア）	自転車競技	2021年東京	○
	那須塩原市立東小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	那須塩原市立南小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌	
	那須塩原市立波立小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌	
	那須塩原市立豊浦小学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
那須塩原市立西那須野中学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ、2021年東京		
栃木県立栃木翔南高等学校	秦由加子	トリアスロン	2021年東京		
栃木県立今市特別支援学校	秋元妙美	ボッチャ	2012年ロンドン		
千葉県	印西市立平賀小学校	佐野優人	ゴールボール	2021年東京	
	浦安市立見明川小学校	池崎大輔	車いすラグビー	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
	我孫子市立湖北小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	鎌ヶ谷市立五本松小学校	杉田好士郎	競泳	2000年シドニー	
	君津市立八重原小学校	稲葉将	馬術	2021年東京	○
	市川市立平田小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	長生村立一松小学校	稲葉将	馬術	2021年東京	○
	木更津市立清見台小学校	ラッサム・カトゴ（ザンビア）	陸上競技	2021年東京	○
	いすみ市立大原中学校	田口侑治	ゴールボール	2021年東京	
	佐倉市立臼井南中学校	三宅克己	車いすバスケットボール	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ	
	松戸市立第五中学校	加藤昌彦	シッティングバレーボール	2000年シドニー、2004年アテネ、2021年東京	○
	千葉黎明高等学校	里見紗理奈	車いすバドミントン	2021年東京	
	日本体育大学柏高等学校	加藤昌彦	シッティングバレーボール	2000年シドニー、2004年アテネ、2021年東京	
		池崎大輔	車いすラグビー	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
	千葉県立四街道北高等学校	今井友明	車いすラグビー	2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
		羽賀理之	車いすラグビー	2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
	千葉県立桜が丘特別支援学校	川原凜	車いすバスケットボール	2021年東京	
		三宅克己	車いすバスケットボール	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ	
	千葉県立矢切特別支援学校	馬島誠	アイスホッケー	2006年トリノ、2010年バンクーバー	○
	千葉県立東金特別支援学校	山崎晃裕	陸上競技	2021年東京	
佐野優人		ゴールボール	2021年東京		
千葉市	千葉市立高洲第四小学校	高田晃一	陸上競技	1992年バルセロナ、2000年シドニー、2008年北京	

新潟県	佐渡市立真野小学校	山本篤	陸上競技	2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ、2021年東京	
	十日町市立鏡島小学校	安達阿記子 神保康広	ゴールボール 車いすバスケットボール	2008年北京、2012年ロンドン 1992パルセロナ、1996アトランタ、2000シドニー、2004アテネ	
石川県	石川県立いしかわ特別支援学校	田中恵子	ボッチャ	2021年東京	
山梨県	大月市立猿橋小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌	
	昭和町立押原中学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	笛吹市立石和中学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	山梨県立青洲高等学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
大阪市	北杜市立甲陵高等学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン	
	大阪市立横堤小学校	初瀬勇輔	柔道	2008年シドニー	
	大阪市立市岡小学校	ハナ=ドット(オーストラリア)	車いすバスケットボール	2021年東京	○
		ブーリー=メルバーク(オーストラリア)	車いすバスケットボール	2021年東京	○
エラ=サブリアク(オーストラリア)		車いすバスケットボール	2021年東京	○	
大阪市立平野中学校	網本麻里	車いすバスケットボール	2008年北京、2021年東京		
兵庫県	加古川市立氷丘南小学校	ブラジル女子チーム	シッティングバレーボール	2021年東京	○
	丹波市立中央小学校	芦田創	陸上競技	2016年リオデジャネイロ	
	淡路市立学習小学校	正木健人	柔道	2012年ロンドン	
	朝来市立系井小学校	黒木新吾	車いすバスケットボール	1996年アトランタ	
	兵庫県立高等特別支援学校	柳 昂志	シッティングバレーボール	2021年東京	
谷河勇綺		シッティングバレーボール	2021年東京		
菊池智子		シッティングバレーボール	2012年ロンドン、2021年東京		
神戸市	神戸市立竜が台小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	神戸市立伊川谷中学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
	神戸市立長田中学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ	
岡山県	鏡野町立大野小学校	井上全悠	卓球	2021年東京	
	高梁市立宇治小学校	井上全悠	卓球	2021年東京	
	高梁市立福地小学校	井上全悠	卓球	2021年東京	
	早島町立早島小学校	井上全悠	卓球	2021年東京	
岡山市	岡山市立福浜小学校	生馬知季	車いす陸上	2021年東京	
	岡山市立岡山後楽館中学校	岡紀彦	卓球	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京	
	岡山市立上南中学校	佐藤友祈	車いす陸上	2016年リオデジャネイロ、2021年東京	

下桃太郎氏(カヌー)、川井梨紗子氏(レスリング)、川井友香子氏(レスリング)、平田しおり氏(ライフル射撃)、木島萌香氏(アーティスティックスイミング)、赤穂ひまわり氏(バスケットボール)、多田修平氏(陸上競技)、谷川亜華葉氏(競泳)、田中希実氏(陸上競技)、弘津悠氏(ラグビー)、寺内健氏(飛込)、齋藤愛実氏(陸上競技)、安部孝駿氏(陸上競技)まで幅広い年代のオリンピックが派遣されている。アメリカ体操チーム、ドイツ体操選手、フランス卓球チームなどはホストタウン交流を機に2021年東京大会終了後、オンラインでの交流も行われた。派遣回数別にみると、佐野夢加氏(陸上競技)が3回、野口みずき氏(陸上競技)、竹下佳江氏(バレーボール)、齋藤愛実氏(陸上競技)、中山陽介氏(ウエイトリフティング)が2回と複数回派遣されていた。延べ49回の派遣のうち、42名のオリンピックが派遣され、冬季大会に出場したのは2名であった。2021

年東京大会に出場したのは21回であり、半数近い割合となった。また、N-COPEが支援している地域別にみると千葉県が10回、兵庫県が9回、石川県・山梨県が8回、栃木県が4回、北海道・新潟県・大阪市が2回、岡山市が1回、千葉市・神戸市はオリンピックの派遣がなかった。

表12のパラリンピアン派遣内訳をみると、1988年ソウル大会に出場した永尾嘉章氏(陸上競技)から2021年東京大会に出場したレ・バンコン氏(ベトナムパワーリフティング)、イボンヌ・マルツィンケ氏(オーストラリア自転車競技)、ラッサム・カトンゴ氏(ザンビア陸上競技)、ハナー・ドット氏、ブーリー・メルバーク氏、エラ・サブリアク氏(共にオーストラリア車いすバスケットボール)、シッティングバレーボールブラジル女子チーム、眞田卓氏(車いすテニス)、秦由加子氏(トライアスロン)、佐野優人氏(ゴールボール)、池崎大輔氏(車いすラグビー)、稲葉将氏(馬術)、

表 13 派遣講師アスリート

地域	学校・イベント名	取組内容
北海道	釧路市立朝陽小学校	アイスホッケー選手による実技体験および講演
千葉県	印西市立いには野小学校	プロバスケットボール選手による実技体験および講演
	市川市立真間小学校	フェンシング選手による実技体験および講演
	船橋市立七林小学校	プロ野球選手による野球教室
	八千代市立高津小学校	空手選手による実技体験
	旭市立第二中学校	陸上競技選手によるスポーツ討論会
	一宮町立一宮中学校	ボルダリング選手による実技体験および講演
山梨県	山梨県立吉田高等学校	ウエイトリフティング選手による講演

田口侑治氏（ゴールボール）、里見紗理奈氏（車いすバドミントン）、加藤昌彦氏（シッティングバレーボール）、今井友明氏（車いすラグビー）、羽賀理之氏（車いすラグビー）、川原凜氏（車いすバスケットボール）、山崎晃裕氏（陸上競技）、山本篤氏（陸上競技）、田中恵子氏（ボッチャ）、網本麻里氏（車いすバスケットボール）、柳昂志氏（シッティングバレーボール）、谷河勇綺氏（シッティングバレーボール）、菊池智子氏（シッティングバレーボール）、井上全悠氏（卓球）、佐藤友祈氏（陸上競技）まで幅広い年代のパラリンピア

ンが派遣されている。レ・バンコン氏（ベトナムパワーリフティング）、イボンヌ・マルツインケ氏（オーストリア自転車競技）、ラッサム・カトゴ氏（ザンビア陸上競技）、ハナー・ドット氏、ブリー・メルバーク氏、エラ・サブリャク氏（共にオーストラリア車いすバスケットボール）、シッティングバレーボールブラジル女子チームなどはホストタウン交流を機に2021年東京大会後にオンラインでの交流が行われた。派遣回数別にみると、堀江航氏（アイスホッケー）が7回、永尾嘉章氏（陸上競技）、鈴木徹氏（陸上競技）が5回、

表 14 派遣講師パラアスリート

地域	学校・イベント名	取組内容	オンライン
北海道	釧路市立朝陽小学校	パワーリフティング選手とのオンライン交流	○
千葉県	一宮町立一宮小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	浦安市立見明川小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	鎌ヶ谷市立五本松小学校	パワーリフティング選手とのオンライン交流	○
	習志野市立秋津小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	八千代市立高津小学校	車いすテニス選手による実技体験	
	一宮町立一宮中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	香取市立新島小学校	車いすバスケットボール選手とのオンライン交流	○
	佐倉市立印南小学校	パワーリフティング選手とのオンライン交流	○
	市川市立真間小学校	陸上競技選手による義足体験	
	木更津市立清見台小学校	ブラインドサッカー選手による実技体験および講演	
	流山市立小山小学校	ボッチャ選手による実技体験	
	山武市立大平小学校	ゴールボール選手による実技体験	
	柏市立田中中学校	パワーリフティング選手とのオンライン交流	○
	流山市立常盤松中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	千葉県立桜が丘特別支援学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
千葉市	千葉市立園生小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	千葉市立磯辺第三小学校	車いすラグビー選手による実技体験	
	千葉市立寒川小学校	ゴールボール元日本代表選手によるオンライン授業	○
	千葉市立幸町小学校	シッティングバレーボール選手による実技体験および講演	
	千葉市立花見川中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	千葉市立柏台小学校	車いすラグビー選手による実技体験	
	千葉市立菅田中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	千葉市立葛城中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	千葉市立若松中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	千葉市立大椎中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	

新潟県	長岡市立関原中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	上越市立国府小学校	パワーリフティング選手による講演 陸上競技選手による講演	
山梨県	甲州市立神金小学校	ブラインドサッカー選手による実技体験および講演	
	甲府市立新紺屋小学校	競泳選手による講演	
	甲府市立中道北小学校	競泳選手による講演	
大阪市	大阪市立岸里小学校	ブラインドサッカー選手による実技体験および講演	
	大阪市立中央高等学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
兵庫県	朝来市立糸井小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
神戸市	神戸市立高和小学校	陸上競技選手による車いすレーサー体験	
	神戸市立灘の浜小学校	ブラインドサッカー選手による実技体験および講演	
	神戸市立須磨北中学校	ブラインドサッカー選手による実技体験および講演	
岡山県	美作市立土居小学校	ブラインドサッカー選手による講演	
	真庭市立八束小学校	馬術選手による講演	
	和気町立佐伯中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演	
	岡山県立玉野光南高等学校	ブラインドサッカー選手による実技体験および講演	
岡山市	岡山市立蛍明小学校	車いすバスケットボール選手4名による実技体験および講演	
	岡山市立建部中学校	ポッチャ選手による実技体験および講演	
	岡山市立香和中学校	車いすバスケットボール選手3名による実技体験および講演	
	岡山市立山南中学校	ポッチャ選手による実技体験および講演	

井上全悠氏（卓球）が4回、眞田卓氏（車いすテニス）が3回、稲葉将氏（馬術）、加藤昌彦氏（シッティングバレーボール）、馬島誠氏（アイスホッケー）が2回となり、43名中8名が複数回派遣されていた。延べ69回のうち、43名のパラリン

ピアンが派遣され、冬季大会に出場したのは2名であった。また、オンラインを活用した交流は12回行われていた。地域別にみると千葉県が21回、栃木県が13回、兵庫県が7回、山梨県が5回、岡山県・大阪市が4回、北海道・新潟県・神戸市・

表15 派遣講師ゲストティーチャー

地域	学校名	取組内容	派遣者	業種	注
北海道	釧路市立朝陽小学校	社会福祉協議会職員を講師としてポッチャ体験を実施 社会福祉協議会職員を講師として車いす、点字体験を実施	社会福祉協議会職員 社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員 社会福祉施設職員	
	留寿都村立留寿都小学校	北海道ポッチャ協会理事長の方を講師としてポッチャ体験を実施	北海道ポッチャ協会理事長	競技団体	
	日高町立富川小学校	北翔大学陸上部監督を講師として陸上教室を実施	北翔大学陸上部監督	大学・専門学校教員	
栃木県	那須塩原市立大貫小学校	障がい者を講師として交流・体験を実施	障がい者	障がい者	
	栃木県立今市特別支援学校	日本ユニバーサルポッチャ連盟の方を招聘し、ポッチャ体験を実施	日本ユニバーサルポッチャ連盟	競技団体	
千葉県	いすみ市立太東小学校	いすみ市サーフィン業組合の協力のもと、サーフィン体験を実施	いすみ市サーフィン業組合	スポーツ関係団体	
	一宮町立一宮小学校	日本ボロライフガード協会「J-PRO」の協力のもと、サーフィン体験を実施	ライフセーバーチーム「Jプロ」	スポーツ関係団体	
	一宮町立東浪見小学校	町の福祉健康課職員等を招き、視覚障害・肢体不自由・高齢者の疑似体験を実施	一宮町福祉健康課職員	自治体職員	
	印西市立いには野小学校	オリンピック聖火ランナーを招聘し、講演を実施	オリンピック聖火ランナー	その他	
	順天堂大学の先生と学生を講師に招いて、ゴールボールの体験を実施	順天堂大学教授	大学・専門学校教員		
	順天堂大学の先生と学生を講師に招いて、ゴールボールの体験を実施	順天堂大学大学生	大学・大学院生		
	鴨川市立西条小学校	地元の女子プロサッカーチーム「オルカ鴨川」のコーチを招いて講話を実施	プロサッカーチームコーチ	競技団体	
	君津市立八重原小学校	ブラインドマラソン日本代表ヘッドコーチ招聘し、バラスポーツ体験を実施 山武市職員の西島サジーンさん（スリランカ出身）を講師としてスリランカについての学習を実施	ブラインドマラソン日本代表ヘッドコーチ スリランカ人講師	競技団体 外国人講師	
	習志野市立香澄小学校	日本体育大学准教授の方を講師として障害者理解等に関する講演会を実施 千葉ロッテマリーンズ・ベースボールアカデミーから4名の方を招聘し実技体験を実施	日本体育大学准教授 千葉ロッテマリーンズベースボールアカデミーコーチ	大学・専門学校教員 スポーツ関係団体	
	松戸市立大橋小学校	地元在住の農業従事者を講師として、梨栽培体験を実施	農業従事者	その他	
	成田市立久住小学校	地元在住の外部講師を招き、茶道体験を実施	茶道講師	伝統芸能講師	
	船橋市立高根東小学校	株式会社グローバルアース 代表取締役の藤本正樹氏を講師として各国の生活様式に関する講演会を実施	株式会社グローバルアース 代表取締役	その他	
	長生村立一松小学校	日本サーフィン連盟の方を講師としてサーフィン体験を実施	日本サーフィン連盟	競技団体	
	八千代市立高津小学校	全盲の方を講師として障がい理解についての講演会を実施	視覚障がい者	障がい者	
	いすみ市立大原中学校	いすみ市役所水産商工課の方を講師に招聘し、地域理解の学習を実施	いすみ市役所水産商工課	自治体職員	
	君津市立周西南中学校	ブラインドマラソン日本代表ヘッドコーチ招聘し、バラスポーツ体験会を実施。	ブラインドマラソン日本代表ヘッドコーチ	競技団体	
	香取市立佐原第五中学校	人権擁護委員の方を講師として講演会を実施	人権擁護委員	公認指導員	
	山武市立松尾中学校	山武市職員の西島サジーンさん（スリランカ出身）を講師としてスリランカについての学習を実施	スリランカ人講師	外国人講師	
	市原市立市東中学校	東海大学付属市原望洋高等学校のALTを招き、英語交流を実施	ALT 講師	外国人講師	
	習志野市立第七中学校	千葉ロッテマリーンズ・ベースボールアカデミーから4名の方を招聘し実技体験を実施	千葉ロッテマリーンズベースボールアカデミーコーチ	スポーツ関係団体	
	柏市立田中中学校	徳増浩司先生（神田外語大学 客員教授 法谷イナターナショナルグループ 会長）を講師としてグローバルコミュニケーションについての学習を実施	神田外国語大学客員教授	大学・専門学校教員	
野田市立関宿中学校	千葉県ポッチャ協会の方を講師としてポッチャ体験を実施	千葉県ポッチャ協会	競技団体		
千葉県立四街道北高等学校	千葉県県民生活・文化課の方を講師に招聘しボランティアについての出前講座を実施	千葉県県民生活・文化課職員	自治体職員		
	塾学校の先生から聴覚障がいについての出張講義を実施	千葉県特別支援学校教員	小中高特支教員		
	江戸川学園おおたかの森専門学校の方を講師に招聘し、車いす体験、車いす利用者への介助体験を実施	江戸川学園おおたかの森専門学校教員	大学・専門学校教員		
千葉県立流山南高等学校	NPO法人流山市国際交流協会の協力で、市内在住のオランダ人を講師として講演会を実施	地域在住オランダ人	外国人講師		
千葉県立東金特別支援学校	城西国際大学の中国人留学生とオンライン交流を実施	城西国際大学留学生	外国人講師	○	
	東京2020組織委員会の表彰式担当者を講師に招聘し、オンラインによる講演会を実施	東京2020組織委員会職員	その他	○	

千葉県	千葉県立みつわ台北小学校	身体障がい者による福祉講話を実施	身体障がい者	障がい者
	千葉県立磯辺第三小学校	聴覚障害との交流会を実施	聴覚障がい者	障がい者
	千葉県立寒川小学校	身体障害者連合会の方による福祉講話を実施	身体障がい者	障がい者
	千葉県立千草台東小学校	地域在住の方によるポッチャ体験を実施	地域在住高齢者	高齢者
	千葉県立朝日ケ丘小学校	身体障がい者による福祉講話を実施	身体障がい者	障がい者
	千葉県立土気小学校	千葉県教育委員会の方を講師として東京パラリンピックについての学習を実施 千葉県役所の方を講師として東京パラリンピックについての学習を実施	千葉県教育委員会 千葉県役所	自治体職員 自治体職員
新潟県	加茂市立須田小学校	新潟医療福祉大学准教授および大学生を講師として、車いすバスケットボール体験を実施。 新潟医療福祉大学准教授および大学生を講師として、車いすバスケットボール体験を実施。	新潟医療福祉大学准教授 新潟医療福祉大学学生	大学・専門学校教員 大学・大学院生
	上越市立飯小学校	上越市国際交流員のドイツ人を講師としてドイツについての学習を実施	上越市国際交流員	外国人講師
	新潟市立七葉小学校	新潟市総合型地域スポーツクラブ「とらい夢」の方を講師として講演会を実施	新潟市総合型地域スポーツクラブ「とらい夢」	スポーツ関係団体
	長岡市立関原中学校	東京 2020 大会陸上競技日本代表トレーナーの方を講師として講演会を実施	陸上競技日本代表トレーナー	公認指導員
	新潟県立川西高等特別支援学校	フリーライターの星野森子さんを講師としてパラリンピック・パラリンピックについての講演会を実施	フリーライター	その他
		地元在住の外部講師を招き、茶道体験を実施。	茶道講師	伝統芸能講師
ブルガリア出身の作曲家の方を講師として、ブルガリアの文化や世界各国の音楽についての学習を実施 新潟医療福祉大学リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科 助教の方を講師として義肢装具士についての学習を実施		作曲家 新潟医療福祉大学助教	その他 大学・専門学校教員	
石川県	小松市立松東みどり学園	日本体育大学の特別研究員を講師としてパラリンピック体験を実施	日本体育大学特別研究員	大学・専門学校教員
	津幡町立太白台小学校	日本体育大学の特別研究員を講師としてパラリンピック体験を実施	日本体育大学特別研究員	大学・専門学校教員
	能美市立根上中学校	日本体育大学の特別研究員を講師としてオンラインにてパラリンピックについての学習を実施	日本体育大学特別研究員	大学・専門学校教員 ○
	白山市立北辰中学校	日本体育大学の特別研究員を講師としてオンラインにてパラリンピックについての学習を実施	日本体育大学特別研究員	大学・専門学校教員 ○
	石川県立津幡高等学校	日本体育大学の特別研究員を講師としてパラリンピック体験を実施	日本体育大学特別研究員	大学・専門学校教員
	石川県立鶴来高等学校	一般社団法人石川eスポーツ協会の方を講師としてeスポーツの体験を実施	石川eスポーツ協会	スポーツ関係団体
		アスレチックトレーナーの方を講師として講演会を実施	アスレチックトレーナー	公認指導員
石川県立いしかわ特別支援学校	日本体育大学の特別研究員を講師としてオンラインにてパラリンピックについての学習を実施 パラリンピアンの方を講師として講演会を実施	日本体育大学特別研究員 パラリンピアン	大学・専門学校教員 ○ その他	
山梨県	甲斐市立竜王南小学校	甲斐市スポーツ振興課職員3名を講師としてポッチャ体験を実施	甲斐市スポーツ振興課職員	自治体職員
	市川三郷町立上野小学校	山梨県障害者スポーツ協会の方を講師として車いすバスケットボール体験を実施	山梨県障がい者スポーツ協会	競技団体
	西桂町立西桂小学校	点字技能師・点字指導員の方を講師として視覚障がいについての学習を実施	点字技能師	公認指導員
	昭和町立押原中学校	点字技能師・点字指導員の方を講師として視覚障がいについての学習を実施 山梨県障がい者スポーツ協会会長を講師として障がい者との関わり方について講演会を実施	点字技能師 山梨県障がい者スポーツ協会会長	公認指導員 競技団体
大阪市	大阪市立岸里小学校	手話通訳士の方を講師として聴覚障がいについての講演会を実施	手話通訳士	公認指導員
	大阪市立新北島中学校	ブラインドサッカー協会の方を講師としてブラインドサッカー体験を実施	ブラインドサッカー協会	競技団体
兵庫県	加古川市立氷丘南小学校	日本体育大学の特別研究員を講師としてパラリンピックについての学習およびパラリンピック体験を実施	日本体育大学特別研究員	大学・専門学校教員
	加古川市役所職員	加古川市役所職員を講師としてポッチャ体験を実施	加古川市役所職員	自治体職員
		近畿ブロック障がい者スポーツ指導者協議会会長を講師としてサウンドテーブルテニス体験を実施	近畿ブロック障がい者スポーツ指導者協議会会長	スポーツ関係団体
	丹波市立中央小学校	ミズノテクニクス株式会社から講師を招聘して講演会を実施	ミズノテクニクス株式会社	その他
	香美町立村岡中学校	(株)ミズノ元副社長の方を講師としての講演会を実施	(株)ミズノ元副社長	その他
	兵庫県立西宮高等学校	前神戸大学医学部総合内科臨床教授を講師として講演会を実施	前神戸大学医学部総合内科臨床教授	大学・専門学校教員
兵庫県立村岡高等学校	メンタルプロデューサー(株)脳レボ代表取締役社長の方を講師として講演会を実施	メンタルプロデューサー(株)脳レボ代表取締役社長	その他	
神戸市	三木市立三木特別支援学校	障害者スポーツ交流館の方を講師としてポッチャ体験を実施 障害者スポーツ交流館の方を講師としてフライングディスク体験を実施	障害者スポーツ交流館 障害者スポーツ交流館	スポーツ関係団体 スポーツ関係団体
	兵庫県立高等特別支援学校	パラリンピアンと障害者スポーツ交流館の方を講師としてシッティングバレーボール体験を実施	障害者スポーツ交流館	スポーツ関係団体
	神戸市立須磨磨翔高等学校	名古屋外国語大学外国語学部フランス語学科教授の方を講師としてフランス文化についての学習を実施 在日フランス大使館ドックロー等書記官を講師としてフランスについての学習を実施	名古屋外国語大学外国語学部フランス語学科教授 在日フランス大使館ドックロー等書記官	大学・専門学校教員 外国人講師
岡山県	鏡野町立大野小学校	地域在住の陸上指導員の方を講師として陸上教室を実施	陸上指導員	スポーツ関係団体
	高梁市立宇治小学校	岡山県障害者スポーツ協会の方を講師としてポッチャ体験を実施	岡山県障害者スポーツ協会	競技団体
	真庭市立八東小学校	地域在住の高齢者と交流会を実施	地域在住高齢者	高齢者
	美作市立勝田東小学校	ダンスインストラクター進賀友花里さんを講師に招聘し、リズムジャンプの演習を実施	ダンスインストラクター	スポーツ関係団体
	美作市立土居小学校	日本ゴールボール協会の方2名を講師としてゴールボール体験を実施	日本ゴールボール協会	競技団体
	真庭市立湯原中学校	ゴールボール日本代表トレーナーの方を講師としてゴール体験を実施	ゴールボール日本代表トレーナー	公認指導員
	岡山県立玉野光南高等学校	地域在住の高齢者を講師として高齢者や障がい者についての学習を実施 リーフラス株式会社の方を講師としてオリンピック・パラリンピックについての学習を実施	リーフラス株式会社	その他
岡山県立玉野光南高等学校	日本体育大学の特別研究員を講師としてオリンピック・パラリンピックについての学習を実施 ゴールボール日本代表トレーナーの方を講師としてゴール体験を実施	日本体育大学特別研究員 ゴールボール日本代表トレーナー	大学・専門学校教員 公認指導員	

岡山市が3回、石川県・千葉市が1回の派遣をしており、N-COPEが支援している全ての地域でパラリンピアンが派遣されていた。

表13のアスリート派遣内訳をみると、アイスホッケー選手、プロバスケットボール選手、フェンシング選手、プロ野球選手、空手選手、陸上競技選手、ボルダリング選手、ウエイトリフティン

グ選手がそれぞれ1回ずつ派遣されていた。アスリートのオンラインを活用した交流は行われなかった。N-COPEが支援している地域別にみると、千葉県が6回、北海道・山梨県が1回、アスリートを派遣しており、栃木県・新潟県・石川県・兵庫県・岡山県・千葉市・大阪市・神戸市・岡山市ではアスリートの派遣がなかった。

表16 ゲストティーチャー業種内訳

小中高特支教員	大学・専門学校教員	競技団体	外国人講師	スポーツ関係団体	社会福祉関係	自治体職員	伝統文化芸能講師	障がい者	大学・大学院生	高齢者	公認指導員	その他	合計
1 (1%)	17 (19%)	12 (13%)	7 (8%)	12 (13%)	2 (2%)	7 (8%)	2 (2%)	7 (8%)	2 (2.2%)	3 (3%)	8 (9%)	11 (12%)	91

表14のパラスリート派遣内訳をみると、車いすバスケットボール選手が19回、ブラインドサッカー選手が7回、パワーリフティング選手が5回、陸上競技選手、ボッチャ選手が3回、ゴールボール選手、競泳選手が2回、シッティングバレーボール選手、車いすテニス選手、馬術選手が1回派遣されていた。延べ46回の派遣のうち、6割以上となる31回で車いすを利用しているパラアスリートであった。また、オンラインを活用した交流は6回行われていた。N-COPEが支援している地域別にみると、千葉県が15回、千葉市が10回、岡山県・岡山市が4回、新潟県・山梨県・神戸市が3回、大阪市が2回、北海道・兵庫県が1回、パラアスリートを派遣しており、栃木県・石川県はパラアスリートの派遣がなかった。

表15のゲストティーチャーにおける講師の業種や取組内容を見ると、2020年度と同様にオリ・パラ教育のそれぞれのテーマや学習の目的に応じて、推進地域の特徴を活かしたさまざまな業種の人材が派遣されていた。特にパラリンピック関係者・障がい者スポーツ関連団体・障がい者をサポートする立場の方々・障がいを持った方々など障がいに関わる内容については延べ91回のうち、51回と半数以上となった。また、オンラインを活用した交流は3回行われていた。N-COPEが担当している地域別にみると、千葉県が31回、岡山県が10回、新潟県・石川県・兵庫県が9回、千葉市が8回、山梨県が6回、北海道が4回、栃木県・大阪市、神戸市が2回、ゲストティーチャーが派遣されており、岡山市は派遣がなかった。

表16のゲストティーチャー派遣内訳をみると、大学・専門学校教員が19%、競技団体、スポーツ関係団体が13%、公認指導員が9%、外国人講師、自治体職員、障がい者が8%、高齢者が3%、社会福祉関係、大学・大学院生が2%、小中高特別支援学校教員が1%、その他が12%であった。

その他として振り分けた特徴的な11人の取組を紹介する。1人目はオリンピック聖火ランナーを講師としてサーフィン競技の様子や聖火ラン

ナーについてなど自らの体験に基づく話を中心に講演が行われた。2人目は地元在住の農業従事者を講師として、地域の特産物である梨の栽培方法について学ぶ栽培体験が行われた。3人目は「日本人の99%が知らないこれが世界の真実だ！」の著者である藤本正樹氏を講師として各国の生活様式に関する講演が行われた。4人目は東京2020大会組織委員会の表彰式担当者を講師としてボランティアスタッフ等について、オンラインによる講演が行われた。5人目は視覚障がい者ランナーの伴走などスポーツボランティアを続けているフリーライターの方を講師として講演が行われた。6人目はブルガリア出身の作曲家の方を講師として、ブルガリアの文化や世界各国の音楽についての学習が行われた。7人目はパラリンピアンである田中恵子氏（ボッチャ）の講演会の際に田中恵子氏の母も講師として、選手の取組や支える立場について講演が行われた。8人目はミズノテクニクス株式会社の方を講師として、アスリートを支える仕事について講演が行われた。9人目は（株）ミズノ元副社長の方を講師として講演が行われた。10人目はメンタルプロデューサーの方を講師として、心のエネルギーの創生法についての講演が行われた。11人目は株式会社リーフラスの方を講師としてオリンピック・パラリンピックの歴史についての学習が行われた。

IV. まとめ

本稿ではN-COPEにおいて2020年度及び2021年度に報告された実践を基に講師派遣の内容分析を行った。従来であれば東京大会の開催となっていたが、新型コロナウイルスの影響により、1年の延期となったことでオリ・パラ教育にも大きな影響を与えた。まず、当初予定していた講師が行動制限等により派遣できなくなった学校があった。表1、表9の講師派遣状況にも記されているが、講師を派遣していない学校は2021年度で21%、2021年度では50%であり、2017年度以降のデー

タ【乳井ほか(2019), 乳井ほか(2020), 乳井ほか(2021)】で2020年度には初めて20%を超え, 2021年度では50%まで増加した。学校の休校や日常生活の行動制限など不便な状況で実践内容を工夫し, 講師を招聘せずにオリ・パラ教育を実践する学校が増えたのではないかと考えられる。また新型コロナウイルスの影響により, 派遣される講師の行動制限等によりオンラインでの講演も増加し, 2020年度ではオリンピックでは37回中2回(5%), パラリンピアンでは79回中20回(25%), アスリートが27回中7回(26%), パラアスリートが60回中10回(17%), ゲストティーチャーでは129回中3回(2%)であった。2021年度ではオリンピックが49回中4回(8%), パラリンピアンが69回中12回(17%), パラアスリートが45回中6回(13%), ゲストティーチャーが91回中4回(4%)となり, 2021年度はアスリートの派遣ではオンラインを活用しての交流が行われなかった。オリンピックとゲストティーチャーに比べ, パラリンピアン, アスリート, パラアスリートが高い結果となった。これらについて, パラリンピアンやパラアスリートなどのパラスポーツ選手は視覚障がいや車いす利用など, 支援を必要とする選手もおり, 人との接触が制限されている時期に対面での交流や体験を実施することが困難となり, オンラインでの講演のみに切り替えた学校もあった。また, 2020年度のアスリートでは, プロスポーツ選手によるオンラインでの実施が多く, 教育委員会と選手が所属しているチームの意向により, 選手や児童・生徒への感染対策として対面での実施を行わなかった。2021年度は上記の通り, プロスポーツチームの選手を多数派遣していた地域がオリ・パラ事業に参画しておらず, アスリートによるオンラインでの交流が行われなかったことに影響していることが考えられる。このようにそれぞれの理由によって, オンラインでの実践が増えたことは, 選手の移動時間を含めた時間的な拘束や, これまでオリ・パラ教育の課題とされてきた教員の負担の軽減にも繋がるであろう。

う。しかし, これらの実践がどのような効果をもたらしているのかなどについては明らかにされておらず, オンラインによる実践の効果検証や対面による実践との比較・検討を行っていかねばならない。そのような課題がありながらも, これらの実践は体育館に大型のスクリーンを設営しての講演形式で行われることが多く, 会場の人数制限等の理由により, 1部の生徒のみが会場で講演を聞き, それ以外の生徒は教室にてオンラインで講演を聞くなど, 新型コロナウイルスへの対策を講じながら, より多くの児童・生徒が講演や体験会をリアルタイムで視聴できるような工夫も施されていた。また, コロナ禍により, オリ・パラ教育をサポートする関係団体においてもさまざまな工夫とオンライン化が進み, これまで行われていた対面による講演や体験に加え, あすチャレ!メッセンジャー(日本財団パラリンピックサポートセンター, online)などでもオンラインによる講演や交流も行われるようになり, オリ・パラ事業の実践でも活用されるようになった。オリ・パラ教育以外でもオンラインでの授業実践についての報告も増え, 学校種や内容, 学習効果などそれぞれについての報告が行われるようになっている(相川, 2021; 阿部, 2021)。オリ・パラ教育のオンライン実践についても効果検証を行い, 効果と課題を抽出し, 継続性のあるものとしていかねばならない。

本稿ではオリ・パラ教育実践の特徴把握に向けて, N-COPEが支援している地域の2020年度及び2021年度の講師派遣の内容分析を乳井ほか(2019), 乳井ほか(2020), 乳井ほか(2021)と同様の方法で行った。地域や推進校の拡大が進むにつれ, オリンピアン・パラリンピアンを中心に, 目的に応じたさまざまな種別の地域人材が派遣されるようになっている。また, 2020年度からは新型コロナウイルスの影響により, 移動や交流の制限によって講師を派遣できない学校もあった。しかしながらそのような困難の中, オンラインでの講演・交流なども頻繁に実践されるようになった。

これらはICTの活用により、講師となる選手等の移動時間の解消や、事前の打ち合わせにおいてもオンライン会議システムを活用することで、担当している教員の準備もスムーズに進めることが可能となった。このような実践は今後も増えていくことが考えられるが、実践における効果検証も同時に進めていかなければならず、今後の課題としたい。さらに、本稿はN-COPEが2020年度に支援した15地域248校、2021年度に支援した12地域339校の実践を元にした報告となるため、地域によって推進校数や校種、学校での実施回数もばらつきがある。オリ・パラ教育の実践に関するこれまでの分析や報告（深見ほか、2021a；深見ほか、2021b；宮崎、2019；友添ほか、2018；友添ほか、2019；友添ほか2020）、また、N-COPEが担当している地域以外で行われているオリ・パラ教育の実践データ^{注8)}を活用して、全国規模での検討も必要であり、今後の課題としたい。

注

- 1) スポーツ庁 (online) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業. https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop08/list/detail/1407880.htm. (参照日 2022年3月31日)
- 2) 日本におけるオリ・パラ教育は、オリンピック・パラリンピックを題材にして、①スポーツの意義や価値等に対する国民の理解・関心の向上、②障害者を含めた多くの国民の幼少期から高齢期までの生涯を通じたスポーツへの主体的な参画（「する」、「見る」、「支える」、「調べる」、「創る」）の定着・拡大、③児童・生徒をはじめとした若者に対する、これからの社会に求められる資質・能力等の育成、を推進することを目的としている。
- 3) N-COPE (online) 令和2年度スポーツ庁委託事業 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告書. <https://www.nittai.ac.jp/ncope/reports/index.html>. (参照日 2022年3月31日)

- 4) N-COPE (online) 2016-2021年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」最終成果報告書. https://www.nittai.ac.jp/ncope/reports/2022/final_report_2022.pdf. (参照日 2022年3月31日)
- 5) N-COPE (online) 日本体育大学オリンピック・パラリンピック全国展開事業推進校等実践事例. <https://www.nittai.ac.jp/ncope/reports/index.html>. (参照日 2022年3月31日)
- 6) 日本財団パラリンピックサポートセンター (online) あすチャレ！ジュニアアカデミー. <https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/junioracademy/>. (参照日 2022年3月31日)
- 7) 文部科学省 (online) GIGA スクール構想. https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm (参照日 2022年3月31日)
- 8) 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム (CORE), N-COPE, 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター (ROPE) による実践事例集が下記にて公開されている。CORE, N-COPE, ROPE (online) 令和2年度スポーツ庁委託事業オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業実践事例集. <https://core.taiiku.tsukuba.ac.jp/wp-content/uploads/2021/07/7cfe14a7f-85239d26abccbdc977a1419.pdf>. (参照日 2022年3月31日)

引用文献

- 相川翼 (2021) ハンセン病問題を知る ハンセン病問題から学ぶ～多磨全生園でのオンライン講演&巡検の取り組み～. 武蔵高等学校中学校紀要 (5), 17-41.
- 朝日新聞 (2021a) 東京五輪、コロナ下の開幕1年延期し無観客、1万1000人出場. 7月24日

付1 総合面 東京朝刊.

朝日新聞 (2021b) 東京パラリンピック開幕 4400 人出場, コロナ下で無観客. 8月25日付1 総合面 東京朝刊.

朝日新聞 (2021c) パラ学校観戦, 参加者は 9568 人 辞退相次ぎ大幅減. 9月10日付2 社会面 東京朝刊.

阿部学, 谷山大三郎 (2021) コロナ禍における「SOS の出し方に関する教育」の試み: -マンガ教材と意見分析ツールを活用したオンライン授業-. コンピュータ&エデュケーション 50 (0), 52-55.

乳井勇二, 秋和真澄, 富田幸祐, 関根正美 (2019) オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて: 講師派遣の実績を手掛かりとして. オリンピックスポーツ文化研究 (4), 149-155.

乳井勇二, 秋和真澄, 富田幸祐, 関根正美 (2020) オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて (その2): 講師派遣の実績を手掛かりとして. オリンピックスポーツ文化研究 (5), 167-178.

乳井勇二, 秋和真澄, 富田幸祐, 関根正美 (2021) オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて (その3): 講師派遣の実績を手掛かりとして. オリンピックスポーツ文化研究 (6), 131-146.

深見英一郎, 吉永武史, 岡田悠佑, 劉素雲, 木浪龍太郎, 青木彩葉 (2021a) 2019 年度におけるオリンピック・パラリンピック教育実践の取り組み: 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの担当地域に着目して. スポーツ科学研究 (18), 39-51.

深見英一郎, 吉永武史, 岡田悠佑, 劉素雲, 木浪龍太郎, 青木彩葉 (2021b) 2019 年度早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターにおけるオリンピック・パラリンピック教育の取り組み: セミナー, ワークショップ及び全国フォーラムを中心に. スポーツ科学研究 (18), 39-51.

広瀬健一, 川上若奈 (2021) 小学校道徳化におけるオリンピック・パラリンピック教育の特質-道徳科教科書の分析を通して-. オリンピックスポーツ文化研究 (6), 73-86.

宮崎明世 (2019) 学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の展開と評価: 2016・2017 年オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告書から. 体育学研究 64 (2), 855-868.

信太奈美, 池田由美 (2018) 障がい者スポーツの関わりに対する障がい者との交流及びスポーツの経験の影響-インターネット調査の結果から-. 日本保健科学学会誌 21 (3), 121-129.

岡田悠佑, 友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 根本想 (2018) 日本におけるオリンピック・パラリンピック教育の促進方法に関する研究: オリンピック・パラリンピック教育を実施した教員の視点に着目して. 体育学研究 63: 871-883.

岡田悠佑, 友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史 (2020) 教員の視点から見たオリンピック・パラリンピック教育の促進方法に関する研究: 実践内容と関連付けた効果及び課題の検討を通して. スポーツ教育学研究 40 (2), 31-55.

友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 岡田悠佑, 根本想, 竹村瑞穂, 小野雄大, 青木彩葉, 鈴木康介 (2018a) 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターにおけるオリンピック・パラリンピック教育の取り組み: 小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育実践. スポーツ科学研究 (15), 1-16.

友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 岡田悠佑, 根本想, 竹村瑞穂, 小野雄大, 青木彩葉, (2018b) 2017 年度早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターにおけるオリンピック・パラリンピック教育の取り組み: セミナー, ワークショップ及び全国フォーラムを中心に. スポーツ科学研究 (15), 64-76.

友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 岡田悠佑,

根本想, 竹村瑞穂, 小野雄大, 青木彩菜 (2019a) 2017年度におけるオリンピック・パラリンピック教育実践の取り組み:早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの担当地域に着目して. スポーツ科学研究 (16), 1-13.

友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 岡田悠佑, 東海林沙貴, 竹村瑞穂, 根本想, 小野雄大, 梶将徳, 青木彩菜 (2019b) 2018年度早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターにおけるオリンピック・パラリンピック教育の取り組

み:セミナー及びワークショップを中心に. スポーツ科学研究 (16), 14-25.

友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 岡田悠佑, 東海林沙貴, 竹村瑞穂, 根本想, 小野雄大, 梶将徳, 青木彩菜, 安田純輝 (2020) 2018年度におけるオリンピック・パラリンピック教育実践の取り組み:早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの担当地域に着目して. スポーツ科学研究 (17), 14-27.

(受理日:2022年3月31日)